

平成 29 年 2 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 29 年 2 月 27 日 (月) 午前 10 時 40 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 102、103

3 出席委員の氏名

教 育 長	仲 野 孝	教育長職務代理者	齋 藤 和 夫
委 員	黒 川 優 子	委 員	山 崎 克 弥
委 員	中 野 信 男	委 員	秦 久美子

4 欠席委員の氏名 なし

5 説明のため出席した職員

教 育 次 長	山 田 公 一	主 幹	長 谷 川 智
学 校 教 育 課 長	堀 克 彦	子 育 て 支 援 課 長	宮 路 豊 行
社 会 教 育 課 長	宮 路 一 規	統 括 指 導 主 事	齋 藤 暁 史

6 本委員会書記

学校教育課 太 田 和 行 他 3 名

7 傍聴人

2 名

8 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 2 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 3 号 新規共催・後援申請について

## 議 案

- 議案第 1 号 燕市公民館条例の一部を改正する条例の施行期日  
定める規則の制定について
- 議案第 2 号 燕市公民館条例施行規則の一部改正について
- 議案第 3 号 燕市文化財収蔵庫管理規則の制定について

## 会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言                    午前 10 時 40 分～

2. 会議録署名委員の指名        中 野 信 男 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 平成 28 年度に実施する各種事業は、2 月 19 日(日)に実施した羽ばたけつばくろ応援事業の報告会と長善館学習塾の修了式をもって概ね終了した。
- 教育委員の皆様には、報告会などへの出席を賜り感謝申し上げます。今後とも、3 課の様々な事業などについてご支援やご協力、ご助言をお願いします。

2 平成 29 年度当初予算(案)

- 市長は、2 月 21 日(火)に平成 29 年度当初予算(案)を発表した。新年度の予算編成のポイントとしては、第 2 次燕市総合計画が 2 年目となることから、3 つの人口増戦略が掲げる目標に向けて深化させていくことを掲げている。
- 1 つ目は、人口の自然増を目指した「出産・子育て支援」では、妊娠や子育ての様々な不安を解消し、安心して子どもを産み育てられるように、不妊治療や産後ケアを充実すること。
- 2 つ目は、人口の社会増を目指した「仕事づくり・人づくり」では、地域産業の持続的成長を誘発するため、企業クリエイター、学生等とのマッチング、次世代の経営人材の育成を進めること。
- 3 つ目は、活動・交流人口増を目指した「スポーツ交流の拠点性」では、全国規模の大会や合宿を誘致し、スポーツを通じた交流を促進するとともに、その効果が地域経済へ波及するような取組を進めること。以上がポイントである。
- なお、教育委員会の新規事業や拡充事業などについては、このあと各課長がその概要を説明する。成果があがる、成果の見える取り組みにした。

3 学習指導要領の改定案

- 文部科学省は 2 月 14 日(火)、小中学校の次期学習指導要領と幼稚園教育要領の改定案を公表した。
- 厚生労働省は、保育所の運営に関する指針の改定案を公表し、初めて 3 歳以

上の幼児を対象に国旗と国歌に「親しむ」と明記するとともに、文部科学省は幼稚園の教育要領の見直し案にも同様の趣旨が盛り込まれた。

- 小学校で外国語活動を3年生から始め、英語を5年生から教科化することに伴い、3年生から6年生の授業時間が1コマ増えることから、短時間授業や夏季休業期間の短縮など弾力的な時間割編成も可能となる。
- また、正当な日本の主張を児童生徒に理解してほしいことから、社会では初めて竹島や尖閣諸島を「固有の領土」と明記している。
- 基本的な考えを示す「総則」では、児童生徒の育成を目指す資質・能力を、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③学びに向かう人間性と明示しており、文部科学省からの告示は3月中になる模様
- 改訂の内容を理解し、授業に反映させるには日々の研修や授業研究が重要であり、市としても計画性をもって支援することとしたい。

#### 4 ハラスメントの防止について

- 平成26年4月に県教育委員会は、ハラスメント指針等を策定したが、以下の2点について改正が行われることになった。
- 1点目は、「男女雇用機会均等法」及び「育児・介護休業法」が改正され、平成29年1月1日に施行されたことに伴い、新たに妊娠、出産、育児又は介護に関するハラスメントいわゆる「マタハラ・ケアハラ」についても、その防止措置を講ずることが事業主に義務づけられた。
- 2点目は、「男女雇用機会均等法」に基づき、厚生労働省が定めている「セクハラ指針」が改正され、LGBTなどの性的少数者に対する職場におけるセクシュアルハラスメントがセクハラ指針の対象となる旨が明確化された。
- セクハラ・パワハラだけでなく、育児・介護に関する制度を利用する所属職員や同僚に対する否定的な言動はハラスメントの原因や背景になること、また、LGBTの生徒に対する性的指向や性自認をからかったり、見下したりする言動は、児童生徒の心を大きく傷つけ、スクール・セクシュアルハラスメントに該当することになる。
- 教職員1人1人が、ハラスメントは職場環境を害したり、児童生徒の教職員への信頼や学ぶ意欲を奪う許されない行為であることを認識し、日ごろから自らの言動を見直す機会を与えるなど、各学校において、より一層、ハラスメント防止に向けた取組が必要となる。

#### 5 2月の行事から

##### (1) 子どもを育む推進協議会(2月20日)

- 本年度2回目の会議を開催し、絆スクール集会の実施状況や子育て支援と就学援助等について協議した。また、主な事業について報告を行った。

- 子どもを育むことは幼児期から始まっており、家庭と学校や園が連携し、さらには地域などが一体となって取り組むことが重要である。
- (2) Good Job つばめ推進事業実行委員会等(2月21日、23日)
  - この事業の後期分が始まることから、実行委員会を21日(火)に、事業者説明会には37社が参加し、23日(木)に開催した。これまでの事業所と学校だけでなく行政が加わり、組織的に生徒の職業観や勤労観を醸成することは大きな意義がある。

燕中1年生(204人)	燕北中1年生(61人)	吉田中1年生(219人)
3/16(木)~17(金)	3/6(月)~3/8(水)	3/14(火)~3/15(水)

- なお、前期分の生徒アンケート結果から、概ね良好な成果があがっているが、事業所からは今後の実施にあたっての改善要望もいくつかいただいた。
- (3) 文化財やまちの成り立ちなどを紹介する「ブラつばめ」を配信(2月23日)
  - 某放送局の番組である「ブラタモリ」を参考に制作した燕市の文化財や歴史文化を紹介する動画を市ホームページまたはYouTubeで配信した。
  - 第1弾は「大河津分水路」編で、分水小学校の子どもたちが大河津分水路にまつわる場所を訪れ、その痕跡に触れながらナゾを解明している。

〈各課長が予算(案)の概要および主要事業について説明〉

○委員(黒川 優子)

学校教育課と子育て支援課の事業の中で、重複するところもあると思うので、眠育にも目を向けて欲しい。両親の理解が深まることで子どもたちの学校不適應の予防につながると思う。燕市として目を向けて、一人でも学校不適應の子どもが出ないように学校教育課と子育て支援課の力添えをお願いしたい。また部活動やスポーツでは、保育士、幼稚園教諭やスポーツ指導者などから協力してもらい遅くとも20時半頃には子どもたちが帰宅できるよう市全体で取り組んで欲しい。

○主幹(長谷川 智)

眠育に関しては、燕南小学校と燕北小学校を中心に一生懸命に取り組んでいる。睡眠が大事だというのはすべての学校の保健の時間等で生活習慣の大切なこととして学習し、眠育という言葉にはならなくとも以前からは行っている。またスポーツ関係では、中学校の部活動に関して、県からも指導が来ているので、社会教育団体と連携を取りながら開始・終了時刻や休日などについて、折に触れて話をしていきたい。

○委員（黒川 優子）

寝だめをするのでは意味がなく、早寝早起きにつなげないと意味がないのでそういう点をお願いしたい。

○委員（中野 信男）

保育環境の充実に関する説明の中で、第2次燕市幼稚園・保育園適正配置実施計画策定事業がゼロ予算となっているが、ゼロ予算というのはどういったものか。

○教育次長（山田 公一）

基本的にそれ専用の予算を取らずに既決の他の予算を使う方法である。通常であればこのような計画を策定するとなると策定委員会を設ける形となるが、今回は子ども子育て会議というものがあるので、そちらで具体的な検討をしてもらうことを想定している。

○委員（中野 信男）

このようなゼロ予算というのはまれにあるものなのか。

○教育次長（山田 公一）

長善タイムや燕おはようタイムの取り組みはそれ自体の予算を取らずに、全体の運動として取り組んで展開させてもらっている。その事業を行うための予算という形ではなく、今ある人件費なりで運用している。他にも同じような事例はある。

### （3）寄附報告

1 件の寄附について

〈堀学校教育課長が報告〉

### 4. 専決処分の報告について

報告第 2 号 共催・後援の教育長専決報告について

5 件の共催・後援について

〈堀学校教育課長が説明〉

## 5. 協議題

協議第 3 号 新規共催・後援申請について  
2 件の後援について

〈宮路社会教育課長、子育て支援課長が説明〉

○委員（中野 信男）

この読み聞かせはどういったイメージのものなのか。

○子育て支援課長（宮路 豊行）

主催の MIN-ON から講師の方が派遣され、親子が自宅にいるような気分で「読み聞かせ音楽会」に自然体で参加して、読み聞かせを楽しむ講演と認識している。

○委員（中野 信男）

音楽会で読み聞かせというイメージがあまりわからないが。

○子育て支援課長（宮路 豊行）

この MIN-ON 読み聞かせ音楽会については、事業として音楽演奏会や音楽コンクールの開催も行っている。演奏も一緒に行う中で読み聞かせを行うと認識している。この講演は、幼稚園・保育園・こども園を会場として開催をしているが、今回は吉田産業会館で未就学児童の保護者を対象に読み聞かせを行うものである。

審議の結果、全員異議なく承認された。

## 6. 議案

議案第 1 号 燕市公民館条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則の制定について

議案第 2 号 燕市公民館条例施行規則の一部改正について

議案第 3 号 燕市文化財収蔵庫管理規則の制定について

〈宮路社会教育課長が説明〉

○委員（黒川 優子）

公民館利用許可申請書の様式の中で、暴力団等に関する注意事項があるが、これは他の市町村でも同様の記載があるのか。

○社会教育課長（宮路 一規）

これは定型文となっており、近年はどこでもこの文言を記載している。

審議の結果、全員異議なく承認された。

7 閉 会 午前 11 時 49 分



教 育 長 仲野 孝 \_\_\_\_\_

会議録署名委員 中野 信男 \_\_\_\_\_

会議録調整者 竹田 亮子 \_\_\_\_\_